

松尾芭蕉「奥の細道」北陸路 10日間

松尾芭蕉(46歳)1689(元禄2)年3月27日、門人河合 曾良(41歳)と共に江戸を出発



「奥の細道」の足跡図

【金沢の工程】

○7月15日の朝、高岡から倶利伽羅峠を超えて、午後2時30分ごろ金沢入りした。

金沢来訪を待ち焦がれている俳人や交遊のあった一笑が逝去したとの情報を得て孟蘭盆会の7月15日ごろに金沢に到着し、墓参りをしたいと猛暑の中、越後路を急いだ。

○7月16日夜 旅籠宮竹屋(片町2丁目、犀川大橋近く)「芭蕉歓迎の宴」 片町交差点に「芭蕉の辻」記念碑が設置されている

○7月17日 源意庵(浅野川近く)で遊ぶ

○7月18日、19日は休養

○7月20日 犀川の畔にある松源庵(蛤坂を上った左側)に午後に野田山へ

○7月21日 金剛寺境内の柳陰庵 現在の宝泉寺

○7月22日の願念寺での追善会

○7月23日宮ノ越(金石) 大野湊神社

○7月24日小松へ出発 多太神社(斎藤別当実盛の兜を拝観)

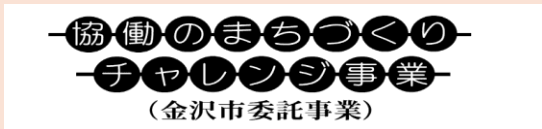
○7月27日那谷寺から山中温泉

【芭蕉の詠んだ主な句】

- | | |
|-------------------|-------------|
| 「わせの香や分け入り右は有磯海」 | 加賀の国に着いて |
| 「塚も動け我泣声は秋の風」 | 一笑の追善会にて |
| 「秋涼し手毎にむけや瓜茄子」 | 松源庵で詠む |
| 「あかあかと日はつれなくも秋の風」 | 金沢に至るまでの道中 |
| 「散る柳あるじも我も鐘を聞く」 | 宝泉寺 |
| 「庭掃て出ばや寺に散柳」 | 全昌寺 |
| 「小鯛さす柳すずしや海士が軒」 | 金石にて大野湊神社詣で |
| 「山寒し心の底や水の月」 | 上野八幡神社 |
| 「風薫る越の白根を国の華」 | 白山比咩神社 |
| 「無残やな甲の下のきりぎりす」 | 多太神社 |
| 「石山の石より白し秋の風」 | 那谷寺 |

(引用文献)山根 公[加賀の芭蕉] アルファベータブックス(2017年)「奥の細道」の足跡図、「奥の細道行脚の図」元禄六年、門弟・許六筆。天理大学附属天理図書館蔵

金沢の人口 前田綱紀の治政
5万人、江戸、大阪、京都、尾張の順



【句碑巡り順路】

1

さいがわ 犀川河畔 (大橋を片町側から渡り左へ、川沿いの小公園内)

昭和33年(1958)建立。「あかあかと日はつれなくも秋の風」。この碑は、はじめ犀川大橋南詰に建てていたが、後に左岸上流の小公園に移された。句碑建立を推進したのは俳人・画家の小松砂丘で、その著「砂丘放談」(昭和46年刊)によれば、俳文学者殿田良作等を相談相手とし、犀川振興会に費用を依頼して建立した。手取川上流桑島から運んだ大きな自然石に、砂丘筆蹟による芭蕉句が刻まれている。



2

しょうげん 松玄(松源・少幻)庵跡 (寺町 5-1-33 辺り)

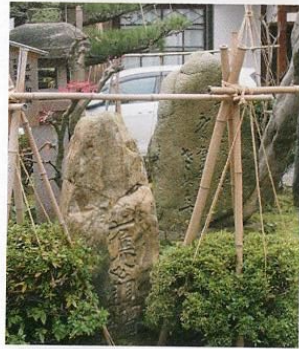
この場所が特定できたのは、金沢在密田靖夫氏の永年にわたる芭蕉研究の成果による。齊藤一泉が芭蕉たちを招いた所である。芭蕉はここで、「瓜茄子」の句を詠んだ。



3

じょうがく 成学寺 (野町 1-1-18)

宝暦5年(1755)建立。現在残されている句碑では、この碑が最も古い。正面に蕉翁墳と彫られ、芭蕉追慕の塚として建立されたことが分かる。碑の右側に「あかあかと日はつれなくも秋の風」と刻し、左側に宝暦5年、金沢の俳人堀麦水たちによって建てられたと記されている。文字も麦水によるものであろう。観



4

ちようきゆう 長久寺 (寺町 5-2-20)

昭和63年(1988)建立。芭蕉が訪れた齊藤一泉の松玄庵がこの近くにあったという縁で、そこで詠んだ句(実際にはあとに直されたものが「おくのほそ道」に収められている)を刻み、境内に建てられている。「秋涼し手毎にむげや瓜茄子」。刻字は素龍清書本による。開



5

ほんちよう 本長寺 (野町 1-2-8)

大正4年(1915)建立。「春もや>けしき調ふ月と梅」。幕末に生を受け、明治・大正時代に活躍した金沢の俳人句空庵5世今村賢外(1839~1924)が建てた。賢外は委文や甫立等と共に金沢俳壇の実力者で、芭蕉が好んで画賛句(自ら描いた画に句を書く)とした春景色の作品を碑に刻んだ。しかし表面の摩滅が進んだため、昭和57年(1982)に住職が俳人黒田桜の園に染筆を依頼し、その文字を碑に写した。観



6

かんねん 願念寺 (野町 1-3-82)

昭和42年(1967)建立。門前左に小杉一笑の死をいたむ翁直筆の「つかもうごけ我泣声は秋の風」を刻んだ句碑が建つ。前書きに「芭蕉翁来訪地 小杉一笑墓所」とあるのは、もちろん別人の筆。境内には一笑の辞世の句を刻む「一笑塚」と墓とがある。元禄2年(1689)、一笑追善会には20余名が出席、芭蕉・曾良をはじめ句空・秋の坊・北枝・何処・牧童・小春らが墓に詣て追善の句をなした。観



犀川河畔→松玄庵→成学寺→長久寺→本長寺→願念寺

45分程度のコース

(引用文献) 金沢市文化政策課発行(2019年) [松尾芭蕉と城下町]市内地図、芭蕉句碑、芭蕉ゆかりの地